

令和5年度 学校評価（ホームページ）

学校番号（中15） 長崎市立深堀中学校

1 教育目標

共に学び、高め合う、希望あふれる生徒の育成
 ・学ぶ意欲 ・思いやる心 ・健やかな心身

◎目指す生徒像

①自ら考え行動する生徒 ②基本的な生活習慣と学習規律を身につけた生徒 ③困難や厳しさに立ち向かう生徒

◎目指す学校像

①笑顔あふれる学校 ②一人一人が輝く学校 ③家庭・地域との連携を深め、安心と安全を保障できる学校

◎目指す教師像

①生徒一人一人を大切にできる教師 ②常に研鑽し、向上する教師 ③生徒・保護者との信頼関係を構築できる教師

2 経営スローガン

・「凡事徹底」 ～当たり前前かが、当たり前前のできる学校～
 ・「chance・challenge・change」 ～一人一人が、大切にされる学校～

3 重点努力目標

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| ①新型コロナウイルス感染症への対応 | ② 確かな学力の保障 |
| ③特別支援教育の充実 | ④ 生きる力の定着 |
| ⑤健やかな身体と安心・安全な学習環境の保障 | ⑥ 信頼される学校づくりの推進 |
| ⑦小学校及び家庭・地域との連携 | ⑧ 働き方改革と服務規律の遵守 |

4

領域	項目	肯定的割合（4段階評価 3と4） %	生徒	保護者	職員	分析
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	89	91	94	学校の雰囲気については、生徒は高いものの職員はもう少し高い目標をめざしている。業務の改善は、ICT関係のソフトや機器の導入による負担もあり低い評価になったと思われる。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	93	83	75	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している	/	/	80	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している	/	/	80	
心の教育	生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	90	89	50	生徒と保護者の評価は、おおむねどの項目においても高い評価を得た。ただ、ルールやマナーについては、生徒は高いものの職員は、さらに改善の必要性を感じている。あいさつについては、まだまだ三者とも不十分を感じており、生徒会の取組を充実させるとともに指導や保護者等への発信の場を広げていく。
		挨拶をよくしている	79	68	50	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	92	81	94	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	91	87	100	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	92	89	81	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	94	93	81	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	91	88	93	
学級安心度	生徒は学級の中で安心して生活することができていると感じている。	84	88	75		
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	98	98	94	「家庭学習の習慣化」については、研修課題にして取り組んできたものの、調査結果まだまだ厳しい状況である。クロームブックの有効活用やキュビナの家庭での活用を含め、今年度、新たな策を講じ、学力向上を図っていく。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	91	78	94	
		家庭学習の習慣が身に付いている	68	56	33	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	74	86	81	
		長崎のまちや自分の住んでいる町が好きである	91	82	81	
学習意欲	生徒は、まじめに授業・学習に取り組んでいる。	86	97	81		

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	93	67	100	健康教育については、健康診断のときの指導及び情報発信、保健だより・掲示物等をおして良く取り組んでいることがわかる。食育は、給食指導を含め本校の大きな課題である。学校三医、栄養教諭とも相談しながら指導を充実させる。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん（基本的生活習慣）が身に付いている	72	81	44	
		体力向上に努めている	82	81	75	
	食育	食に関する教育活動を行っている	61	94	44	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	87	94	100	多くの項目で肯定的な評価であり、今後も油断せずに取り組んでいきたい。地域との連携については、様々な地域行事が再提案され、2学期にからになるが生徒の参加を助めていきたい。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	86	88	100	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	76	99	94	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している	/	/	87	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	78	84	100	安全推進委員会や毎月の安全点検を活用し、さらなる教育環境面での充実を図っていく。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる	/	/	88	

5 自己評価のまとめ（成果・課題・対策等）

教育目標への評価は、三者ともに学校の雰囲気の良い項目が高い。学級・学年の取組や配慮と職員間のコミュニケーションが取れていることが数値を高めている。また、明るく楽しい雰囲気である生徒は高いものの職員はやや低い。学校行事やコミュニケーションを高める活動など様々な取組を通して業務の改善についてはまだまだ積極的に取り組む必要がある。あいさつについては、本校今年度の大きな課題である。三者の数値が違うのは、判断基準の相違によると思われるが、根気強い指導とともに生徒会の主体的な活動を継続していくことまたは講演会等をおして、気持ちよく笑顔であいさつができる生徒を育てていきたい。また、基本的生活習慣についても同様のことがいえる。中でも、食育（食の大切さ）に重点を置き、指導や取組を実践してきたが、学年によっては、好き嫌いによる残食も多く、保護者を巻き込んだ計画的、組織的な取組が必要である。いじめ防止、人権教育、平和教育、学校安心度も非常に高いものの、100%を目指したい。低い評価をした生徒へのサポートができればと考えている。本校のもう一つの大きな課題が家庭学習への取組である。三者とも低い数値であるとともに生徒の割合が高いのは、生徒への浸透が不十分であるともいえる。特に、特定の学年や教科で学習内容の定着状況がよくなく本校の大きな課題である。環境については、安全推進委員会や安全点検、そして、即対応することで充実を図っている。今後も生徒会の活動と連携して、学校全体で取り組んでいく。働きやすい職場づくりに関しては、ここでの数値ではないものの在校時間80時間超を0を今年度8月まで、達成できており、45時間超の職員も減少している。